

名門スタンフォード大学に入るということは？

学校長 横山 豊



卒業生の皆さん、保護者の皆さま、ご卒業までにおめでとうございます。

少し前のことになりますが、令和6年2月21日の朝のテレビ番組で、あるニュースが流れてきました。メジャーリーガーの大谷選手も卒業した花巻東高校を3月に卒業する、高校通算140本塁打を誇る大砲である佐々木選手が「野球だけではなく、学業面にもこだわって、より高い知識や思考を構築していきたい」という願いから、アメリカの名門スタンフォード大学に進学することになったというものでした。

その番組の中では、かつてのアイドル歌手で68歳となったアグネス・チャンさんもインタビューを受けていました。なぜ彼女が出演しているのかなと思いついてみると、実は彼女自身もスタンフォード大学の出身であり、彼女の息子3人もスタンフォード大学を卒業し、アメリカの実業界で大活躍しているのだそうです。そして彼女は、「スタンフォード大学に三人の息子を合格させた50の教育法」という本も書かれていたのです。

そのインタビューの中で、彼女は次のような話をしました。

「スタンフォード大学には、好きなこと、興味のあることだけをとことん突き詰めてやることのできる環境があり、○○の研究であれば○○の研究だけを学んでいる学生が多くいる。

そして、その人の長所や才能を最大限に伸ばしてくれる大学です……。

また、スタンフォード大学に入る(入学する)ということは、ある意味でファミリー(家族)になるということであり、スタンフォード大学を卒業すれば、社会に出て活躍しているスタンフォード大学の卒業生たちからの支援を、一生を通じて受けることができます……」と。

前半の部分を聞いただけでも、良い学校だなと思われましたが、私の心により残ったのは、実は後半の部分です。

本校には「鶯友同窓会」という組織があります。まさにこれも同じような狙いを持つ組織であり、「鶯谷中学・高等学校を卒業した生徒は、生涯にわたり繋がりをもち続け、助け合い支え合ってほしい」という願いのもとに作られました。まさにこれは、「鶯谷ファミリーとなる」つまり「家族になる」を意味しており、アグネス・チャンさんの言葉を借りれば「鶯谷ファミリーの一員となる」ということなのです。

本校は令和10年(2028年)に創立125周年を迎えますが、「鶯谷中学・高等学校に入学し卒業したら、生涯にわたり繋がりが合い、お互いを支援し合える」創立150年そして200年に向けて、そのような学園となってほしいと願います。



令和6年度
卒業記念品

デジサイン